

福岡県道路啓開計画(第2版)の概要

計画の目的

大規模な災害発生時、人命救助や緊急物資の輸送のために必要な道路啓開を効率的かつ迅速に行い、円滑な災害応急対策活動に資することを目的とする

対象とする災害

地震や水災害等の幅広い自然災害を対象とする

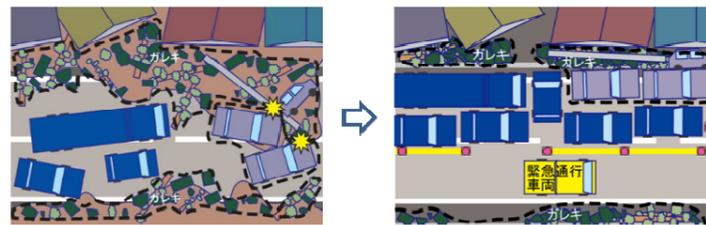
福岡孤立ゼロ作戦

- ・本計画に基づき、大規模な災害発生時、孤立した地域へ到達するルートを早期に確保する作戦
- ・協議会の各機関が連携・協力し、孤立した地域に到達するルートの道路啓開を72時間以内に完了することを目標

道路啓開の方法

- ・1車線相当の道路啓開を基本
- ・中央分離帯設置区間においては、上下毎に1車線相当の道路啓開を検討
- ・車両がすれ違いできるように、適宜、待避所を設ける

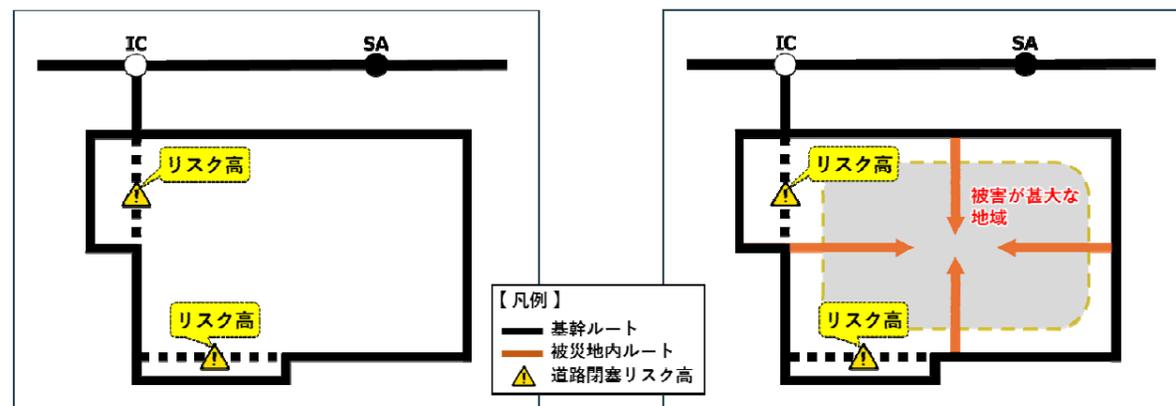
※道路啓開とは
がれき処理や車両等の移動、簡易な段差修正などを行い、最低限のルートを確保すること



道路啓開のイメージ

啓開ルートの選定

- ・幅広い災害に対応できるように、発災前に**基幹ルート**、発災後に**被災地内ルート**を選定



啓開ルートの選定のイメージ

- ・啓開ルートの選定にあたっては、道路におけるリスク（橋梁、跨道橋、災害危険箇所、沿道建築物、道路幅員、無電柱化、津波浸水）を踏まえ、**道路が閉塞するリスクの高いルートを可能な限り避ける**



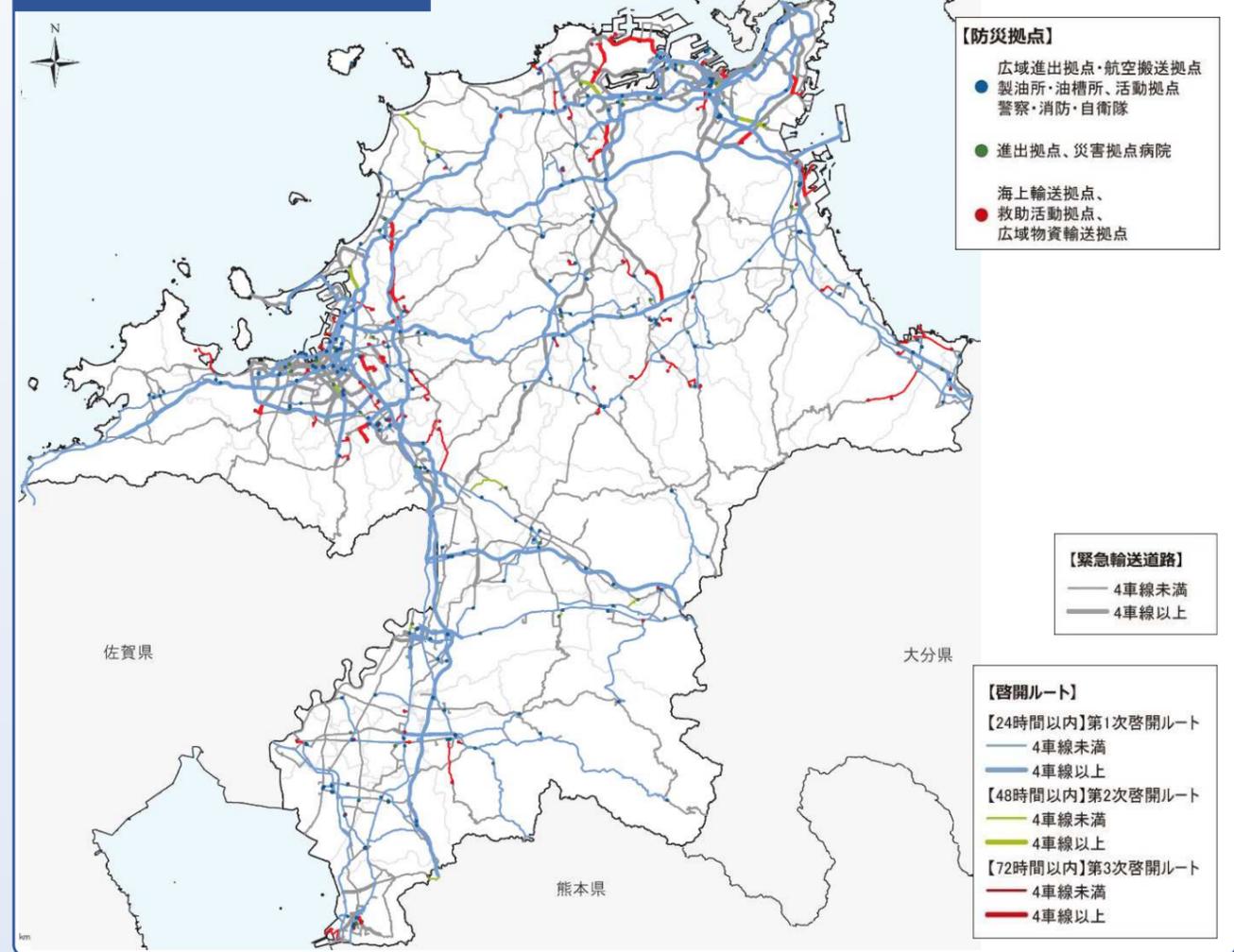
写真提供：国土交通省 九州地方整備局



出典：熊本災害デジタルアーカイブ / 提供者：熊本県

道路閉塞の写真（土砂崩落、落橋の状況写真）

啓開ルート（基幹ルート）図



防災訓練の実施

- ・協議会の各機関は連携・協力して、大規模な災害の発生を想定した実働訓練や情報伝達訓練等を定期的実施
- ・防災訓練の実施を通じて得られた知見や課題等を踏まえ、必要に応じて、計画を見直し



関係機関との連携

- ・大規模な災害発生時、協議会の各機関及びその他の機関が、適切な役割分担の下、緊密に連携・協力し、道路啓開を実施
- ・平時から協議会を通じて、定期的に意見交換や防災訓練などを行い、協議会の連携を強化



協議会：福岡県、九州地方整備局、北九州市、福岡市、西日本高速道路株式会社 九州支社、福岡北九州高速道路公社、福岡県道路公社、福岡県 警察本部、防衛省 九州防衛局、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、九州電力株式会社、西日本電信電話株式会社 九州支店、株式会社Qnet、一般社団法人 日本自動車連盟

計画の実効性の向上

- ・今後も協議会を活用し、以下の事項に継続して取り組む
 - ① 最新の技術を活用した被災状況の把握・情報共有、
 - ② 迅速な初動体制の確保、
 - ③ 防災拠点及び啓開ルートの更新、
 - ④ 協議会の各機関の連携強化、
 - ⑤ 定期的な防災訓練の実施
 - ⑥ 計画のスパイラルアップ